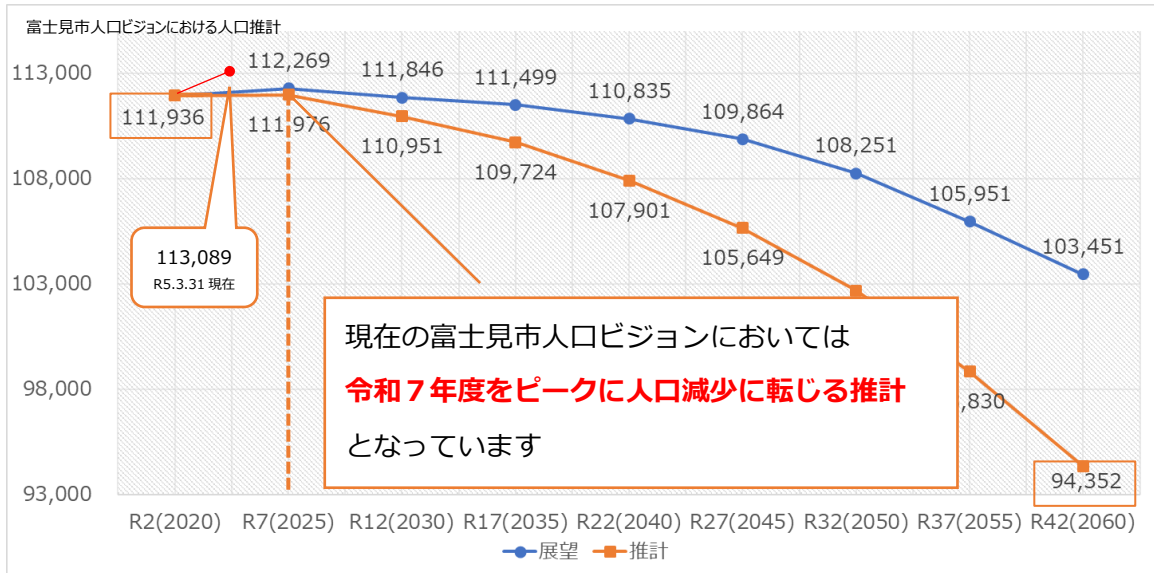


事業の見直し（スクラップ）について

趣旨

現在の富士見市人口ビジョンにおいては、令和7年度をピークに、少子高齢化に伴う人口減少が予想されており、生産年齢人口の減少とともに市の税収も減少していくことが見込まれます。一方で、歳出については、社会保障費の増加や、公共施設の老朽化など、今後においても増加の要因が見込まれ、このままでは、健全な財政の維持が困難となる恐れがあります。



人口減少

総人口は2060年までに△16%（18,000人減）

- ・ 子どもの数の減少 $\Delta 37\%$ （5,300人減）
- ・ 生産年齢人口の減少 $\Delta 26\%$ （18,500人減）
- ・ 高齢者の増加（高齢化率の上昇） $+ 21\%$ （5,800人増） 対2020年比

出典：富士見市人口ビジョン

市税収入の減

△16億円

老人福祉費の増

+ 7億円

（2060年と2020年比）



- + 新庁舎等の整備費用
- + 公共施設の老朽化対策
- + …



こういった状況を踏まえ、第1期基本計画の策定に合わせて開始した行政評価の結果を活用し、既存施策の見直し（主にスクラップ）の手法について検討を行うものです。

見直し（スクラップ）の目的

ここでの見直し（スクラップ）は、第2期基本計画の策定に向けた施策や取組の整理を目的として実施します。本審議会においてはその手法（アプローチ）に問題がないかご審議願います。

今回の審議会におけるゴール

今回は、スクラップに主眼を置き、第2期策定に向けた施策内容の見直しにつながるような審議とするため、以下をゴールとして設定します。

【第4回】①施策の見直し（スクラップ）手法の確認

②スクラップにおいて想定されるハードルとその対応案の整理

【第5回】モデルケースとして抽出した施策の検討

見直し（スクラップ）手法について

【1】 施策の分析

見直し（スクラップ）あたっては、一定の基準を持って、対象施策の抽出を行う必要があると考えますが、その基準・手法が、現時点では整理されていない状況にあります。

このため、今回の審議会にお諮りするうえで、施策ごとの成果・効果を把握することが可能である行政評価のスキームを活用し、アウトプット・アウトカムそれぞれの観点から、対象施策の絞り込みおよび分析を行いました。（別紙参照）

別紙の通り、**基本施策レベル**での絞り込みを行い、その内容について検討・分析した結果、**取組レベル**において施策にぶら下がる取組の傾向として次のようなものが見受けられました。

▶ 取組レベルにおける傾向

- (a) 住民生活の基盤（セーフティネット含む）、インフラである
- (b) 必要な取組 具体的な取組（既存施設や設備の保守等）を包含している
- (c) ロジックモデルの見直しが必要である（「手段」と「目的」の関係性を見直す必要がある等）
- (d) 指標 目標値の見直しが必要である
- (e) これ以上進める必要がない（行政で取り組むべきか整理が必要 など）
- (f) 役目を終えている、効果が薄れている
- (g) ニーズが変化している（ニーズが無くなっている、把握が困難）
- (h) 他の施策等に包含できると考えられる
- (i) 取組に対し、具体的な取組が効果的でないと考えられる
- (j) 基本施策に対し、取組が効果的でないと考えられる
- (k) 手法や成果が具体化できていない取組となっている

上記特徴のうち、(e)～(k)に該当するものについて、スクラップ対象となり得る取組・具体的な取組を包含している = **見直し対象とすべき案件** として整理することとし、見直しの基準とします。

【2】見直しの手法

○見直しの流れ

第2期基本計画の策定に向けた見直しにあたっては、全131施策を見直し対象とし、以下の流れで実施することとします。

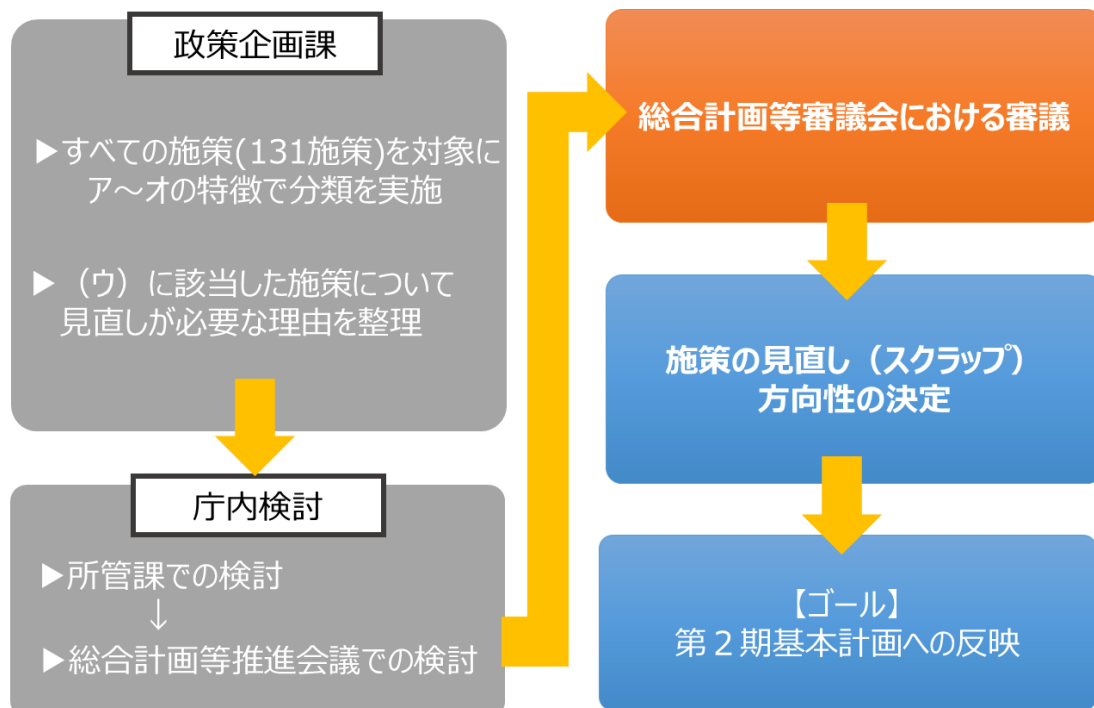
- ・ 全131施策にぶら下がる取組について、分析結果をもとにした下記の分類パターンに基づき、見直し次の(ア)～(オ)に分類

▶ 分類パターン

- (ア) 住民生活の基盤（セーフティネット含む）・インフラである
- (イ) 必要な取組・具体的な取組（既存施設や設備の保守等）を包含している
- (ウ) スクラップ対象となり得る取組・具体的な取組を包含している = 見直し対象
- (エ) ロジックモデルの見直しが必要である（「手段」と「目的」の関係性を見直す必要がある等）
- (オ) 指標・目標値の見直しが必要である

- ・ そのうち(ウ)に分類されたものについて、庁内検討（所管課・総合計画等推進会議）を実施
- ・ 総合計画等審議会において施策・取組の方向性についてご意見を賜る
➡ スクラップ事業の決定 ・ 第2期基本計画への反映

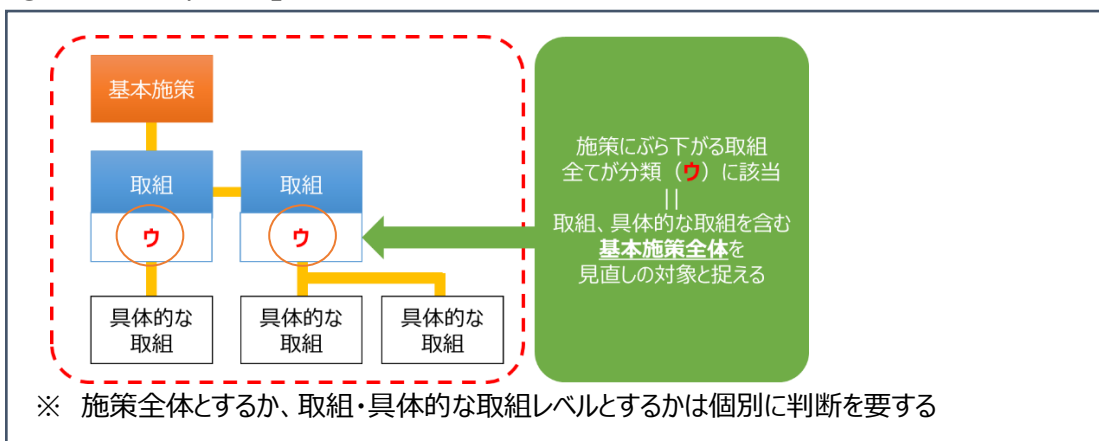
【第2期基本計画を見据えた見直し（スクラップ）手法のイメージ】



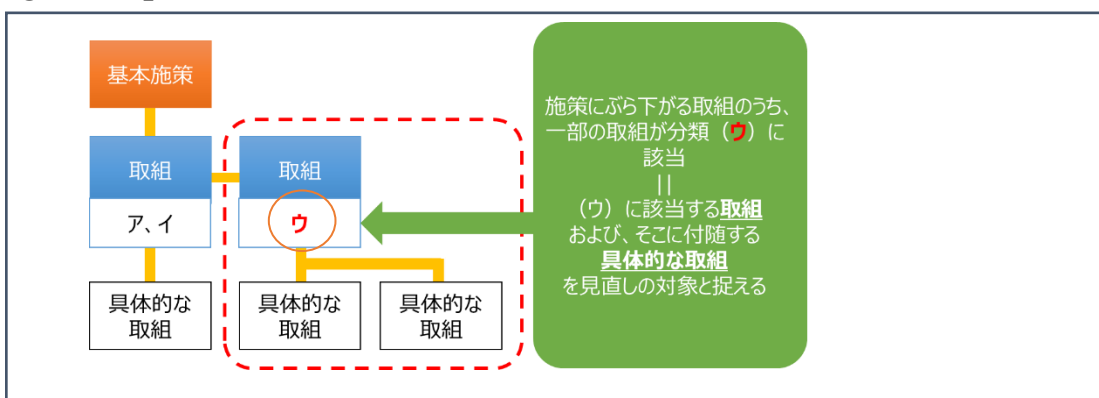
※ (エ)、(オ)に該当する施策については、別途、第2期基本計画の策定に向け、ロジックや指標・目標値の整理を行う。

▶参考1：見直しパターンのイメージ

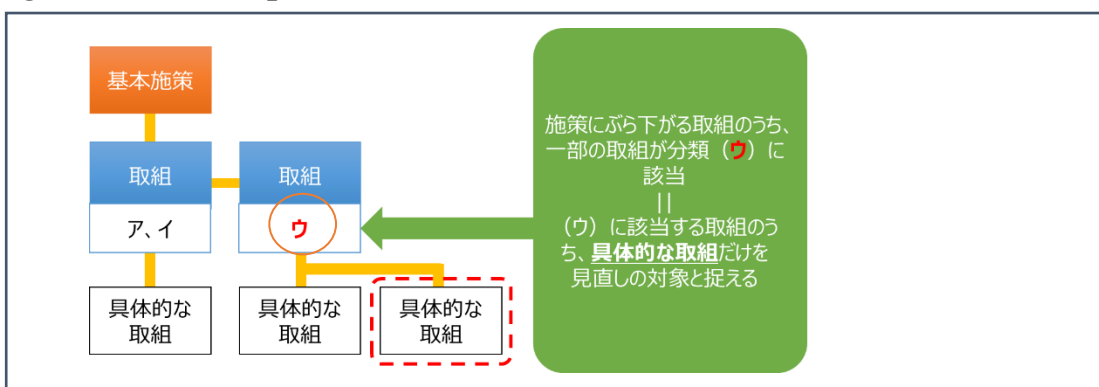
①「基本施策全体」の見直しが必要なもの



②「取組」の見直しが必要なもの



③「具体的な取組」の見直しが必要なもの



▶参考2：行政評価外の情報を把握・考慮する必要があると考えられるもの

- ・ 国や県の特定財源（補助金等）の対象から外れた・外れることとなる施策
- ・ 類似する行政サービスや補助等が存在し、重複していると考えられる施策
- ・ 民間のサービスにより代替可能であり、市として実施する意義が薄れている施策 等

○第2期基本計画の策定においては、行政評価のスキーム以外から得られる視点についても見直しの対象として盛り込むこととします。

見直し（スクラップ）にあたってのハードル・障壁

先ほどの手法を用いてスクラップ対象事業を選定することができたとしても、実際に施策や取組をスクラップする際には、複数のハードル・障壁が想定されます。それらのハードルにどう向き合い、どう乗り越えるべきかについても、ご審議いただきたいと考えております。

【想定されるハードル・障壁】

- ・ 既にメリットを享受している方（既得権）への対応
- ・ 事業をスクラップした際の反発・悪影響（ハレーション）
- ・ 市民との合意形成等に時間を要する など

総合計画審議会においてご審議いただきたい内容

【第4回】（今回）の審議会においてご審議いただきたい内容

- ▶ お示した見直し（スクラップ）手法についてご意見を賜りたい
 - ・ スキーム自体に改善点や問題点がないか
- ▶ 見直し（スクラップ）において想定されるハードルとその対応案についてご意見を賜りたい
 - ・ 上記の他に想定されるハードル・障壁はないか
 - ・ ハードル・障壁を乗り越えるためにどのように対応すべきか

【第5回】（次回）の審議会においてご審議いただきたい内容

- ▶ 実際の施策をモデルケースとした見直し（スクラップ）のシミュレーション
 - ・ 事務局側でモデルケースを選出。
 - ・ 選出した施策・取組に対し、事務局側の考え方をお示しする。
 - ・ 事務局の考え方・アプローチの仕方に誤りがないかご指摘いただく。
 - ・ 審議の中で生じた新たなスクラップの視点や障壁についてご意見賜る。